

2019 年度事業報告

自 2019 年 10 月 1 日
至 2020 年 9 月 30 日

一般社団法人 日本野球機構

日本野球機構は、野球が我が国の社会的な公共財であるとの認識の下、これを普及して国民生活の明朗化と文化的教養の向上をはかるとともに、野球事業の推進を通してスポーツの発展に寄与し、我が国の繁栄と国際親善に貢献することを目的としています。下記は、いずれもこの共通の目的を達成する手段であり、2019年度における実績を記したものです。

2019 年度に実施した主な事業のトピックス

《公益目的事業》

・新型コロナウイルス影響下での新規事業

新型コロナウイルスの影響により、プロ野球の開幕延期や高校野球の春夏の全国大会の中止など、子どもから大人まで野球選手の活動制限や、野球ファンらの閉塞感が広がる中、プロ野球界から活路を開く明るい話題を提供する取り組みとして、プロ野球を目指す高校3年生のための「プロ志望高校生合同練習会」、プロ野球選手とファンのメッセージをキャッチボールの映像でつないだ動画「NPB みんなとキャッチボールプロジェクト」、47都道府県出身のプロ野球選手・12球団・日本代表の稲葉篤紀監督から高校球児へのメッセージを紡ぐ動画「高校球児応援プロジェクト」の各事業を行いました。

・「プロ野球及び学生による共同普及振興事業」

NPB、大学野球、高校野球が手を組んで普及振興策の議論を進める過程で提案された「野球触れ合い体験事業(日本各地で、京都大学等全日本大学野球連盟との共同事業として12会場で開催)」を実施しました。このプロと学生が手を組んだ画期的なイベント等の実施により、今後さらに NPB や個別プロ球団と学生が協力した普及振興事業の取り組みが進み、両者の共同事業が全国各地で益々展開されることが期待されます。

また、本年2月には阪神甲子園球場の室内練習場他で12球団の普及振興担当による「未就学児施策」の勉強会を、日本高野連、近畿地区高野連の関係者を招いて実施。高野連関係者にNPBの普及振興活動の理解を深めてもらうとともに、各地区でのNPBと高校の共同事業実施に向けた話し合いが加速する予定でしたが、コロナ禍の影響で現時点では延期となっています。

・「ベースボール型授業研究会」

2012年の開催から128回実施し(2016年から本格的に日本各地で開催)、延べ6,000人の教職員が参加。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて教員研修の実施が難しい状況となり、春以降は開催中止・延期、また開催交渉がストップという事態となりました。そのような環境下、最終的に今年度は18会場において約430人の教員を対象として実施しました。今後の開催もしばらくは難しい状況にありますが、引き続き全国での受講者拡大を目指してまいります。

・「調査・研究(ゲームオペレーション委員会)」

プロ野球の試合時間短縮化に取り組んでいますが、今季は1試合の平均時間が3時間16分と、昨季に比べて3分長くなりました。投球間隔や打席入り時間の伸延などが要因となっており、これらを踏まえ引き続き対応を検討してまいります。

《収益事業等》

・公式戦や日本シリーズ等の開催とそれらに伴う事業については計画通りに遂行しました。

・2019年暮れから徐々に感染が拡大した新型コロナウイルスの影響で、3月19日の開幕が延期となり、その後も数回にわたり開幕日を延期せざるを得なくなり、当初より3か月遅れの6月19日ようやく開幕を迎えることが出来ました。そのため、1球団当たりの公式戦試合数を143試合から120試合に減らし、セ・パ交流戦、マイナビオールスターゲームは中止となりました。またセ・リーグではクライマックスシリーズも見送ることになりました。

・プロ野球ファンへのサービス向上、プロ野球の訴求力向上そして新たな収益源確保のためeスポーツ事業を実施しました。具体的には、“もう一つのプロ野球”として、プロ野球シーズンオフに2シーズン目となる「eBASEBALL プロリーグ 2019(NPB・コナミ共催)」(2019年11月～2020年1月)を開催し、インターネット配信

にて560万回以上の視聴回数、100万人以上の視聴者数を獲得しました。しかし、2020年5月～9月に開催予定であった「NPB eスポーツシリーズ スプラトゥーン2(NPB主催)」スプラトゥーン2大会はコロナ禍の影響のため開催を中止しました。この他、プロ野球開幕延期期間にプロ野球応援企画として、“バーチャル”開幕戦(3/29-31、4/3-5)及び、第2弾として、“バーチャル”交流戦(6/12-17)を開催。「eBASEBALL プロリーグ2020(NPB・コナミ共催)」(2020年12月～2021年1月開催予定)の開催に向けて、2020年8月に詳細発表、8月～9月にプロテストを実施、9月に初のeオールスターを実施しました。

《その他目的を達成するために必要な業務》

- ・暴排活動等においては中央協議会の開催、春季キャンプでの講習のほか、反社チェックシステムの活用徹底、ドラフト会議および日本選手権シリーズでのチケット転売調査を実施しました。
- ・職員向けの研修、新型コロナウイルス感染防止拡大のためにWEB研修やeラーニングでの受講環境を整えました。また、コンプライアンス研修(各部署単位)を実施しました。
- ・また危機管理対応の強化策として、安否確認システムの安定運用を実施しました。
- ・NPBリプレイ検証制度「リクエスト」の運用検証による更なる向上を目指したリニューアルを実施しました。

実施事業の詳細

《公益目的事業(野球振興事業)》

【野球振興事業の実施】

◇NPB12球団ジュニアトーナメント2019 supported by 日能研の開催

- ・2019年12月27日(金)～29日(日) 札幌ドーム

◇NPBガールズトーナメント2020全日本女子学童軟式野球大会開催

- ・2020年7月31日に開会式、8月1日から愛媛県内で予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため中止

◇教員のための「ベースボール型」授業研究会の開催

「みんなが輝く やさしいベースボール型事業」指導用教材(DVD付)を使用し、球団からの講師派遣協力を得て日本各地で野球方授業研究会を開催。小規模開催としては、2019年10月～2020年9月で全国11府県、教員を目指す大学生を東京女子体育大学、植草学園大学での実施を含め計18会場で開催し、約430人の教員、大学生が参加した。

2020年6月、「みんなが輝くやさしいベースボール型授業」指導用教材(テキストページ)をNPB公式ホームページ上で公開。

◇野球指導者講習会(BCC)の開催

(一財)全日本野球協会と共催してアマチュア指導者向けの講習会を開催。

- ・2020年1月11日(土)、12日(日)、13日(月祝) 国立オリンピック記念青少年総合センター

◇学生野球資格回復制度の運営

プロ野球出身者が学生野球を指導する際に必要となる資格の得喪管理と研修会の実施・運営。

- ・NPBプロ研修会

2019年12月13日(金) 東京都内

- ・学生野球研修会

2019年12月14日(土)・15日(日) 東京都内

◇侍ジャパン「野球指導者スキルアップ講習会」の開催

日本代表経験のある元プロ野球選手及び有識者による小中学生の軟式野球指導者を主な参加対象とした講習会を実施。合計254名が参加。

- ・2019年12月7日(土) 日立市・日立製作所野球場、屋内練習場
- ・2020年1月18日(土) 岡山市・岡山ドーム
- ・2020年1月25日(土) 長崎市・長崎県営球場

◇未就学児等低年齢児童に対する野球ふれあい体験事業

新規事業として、野球振興室独自に野球未経験の児童に対する野球体験イベントを実施。

- ・2020年1月19日(日) 倉敷市・真備総合公園体育館
- ・2020年1月26日(日) 長崎市・三菱重工総合体育館

◇学生&プロ共同普及振興活動

大学生野球部員とNPB、プロ球団アカデミーが共同して低年齢児童との野球ふれあい体験教室を実施。NPB、プロ球団と学生野球が「野球の普及振興」を目的に取り組む画期的な事業で、2018年7月に東京大学、8月にU-18侍ジャパンキッズアカデミーからスタート。12球団と大学、高校が共同で普及振興活動に取り組むことが可能となったことを受け、申請・承認業務を行い、本年度は、日本各地12会場において主に未就学児から小学校低学年を対象とした「野球体験教室」を開催。

- ・2019年11月17日(日) 東京女子体育大・相馬こどもドーム
- ・2019年11月24日(日) 日大・日大習志野グラウンド
- ・2019年11月24日(日) 金沢大・金沢大学多目的グラウンド
- ・2019年11月30日(土) 神奈川工科大・神奈川工科大KAITスタジアム
- ・2019年11月30日(土) 四国地区大学野球連盟・旧高松市立四番丁グラウンド
- ・2019年11月30日(土) 長崎国際大・長崎国際大学硬式野球部専用グラウンド
- ・2019年11月30日(土) 鹿屋体育大・鹿屋体育大学スポーツパフォーマンス研究センター
- ・2019年12月7日(土) 福岡六大学野球連盟・FITスタジアム
- ・2019年12月8日(日) 東洋大・東洋大学川越キャンパスHグラウンド
- ・2019年12月8日(日) 亜大・亜細亜大学日の出キャンパス硬式野球部グラウンド
- ・2019年12月14日(土) 京大・京都大学吉田キャンパス吉田グラウンド
- ・2019年12月15日(日) 立大・立教大学新座キャンパス

◇初心者向け審判講習会

審判員としての活動に興味を持つ人、子どもの試合等で審判を行う保護者を対象にした初心者向けの講座を昨年に続き実施。今期は3会場で開催した。3会場合計で約260人が参加。

- ・2019年11月23日(土) 東京・明治神宮外苑室内球技場
- ・2019年12月8日(日) いわき市・いわきグリーンスタジアム
- ・2020年2月15日(土) 沖縄市・コザしんきんドーム

◇NPB みんなとキャッチボールプロジェクト

新型コロナウイルスの影響により、プロ野球の開幕が延期となった期間中に実施。プロ野球開幕まで「みんなつながっている」と題してプロ野球現役選手とファンから投稿されたキャッチボールとメッセージを繋ぐ動画を8本制作。動画総再生回数は240万回超えを記録。

◇高校球児応援プロジェクト

新型コロナウイルスの影響により、春夏の全国大会や地方大会が中止・縮小となった高校球児を応援する動画を制作。47都道府県出身の12球団プロ野球選手、監督、日本代表監督がメッセージを発信。

◇プロ志望高校生合同練習会

新型コロナウイルスの影響による全国大会及び地方大会が中止・縮小された高校3年生への救済措置として、プロ野球を目指す高校球児が参加する合同練習会を実施。

- ・2020年8月29日(土)、30日(日) 阪神甲子園球場
- ・2020年9月5日(土)、6日(日) 東京ドーム

◇公式記録講習会

全日本軟式野球連盟主催で各都道府県の記録担当者を招集し、記録員の養成を目的とした講習会をNPB記録員が実施。基本的なスコアのつけ方および記録に関する規則の説明、映像を使用し実際のプレイを見ながらの解説も実施。

- ・2019年11月16日(土) 全日本軟式野球連盟公式記録員対象 国立オリンピック記念青少年総合センター

【研究・調査】

◇試合時間短縮化実現に向けた取り組み(ゲームオペレーション委員会)

・試合時間計測・分析

投球間隔や打席入り時間の伸延などの要因により、平均試合時間が前年比3分増となる。

・ゲームオペレーション・ブックの発行

2020年版を作成し、12球団および審判部他へ配布。試合時間短縮化に向けた意識付け等啓蒙活動を継続実施。

・スピードアップ表彰

スピードアップに貢献したチーム、投手、打者をセ・パ両リーグからそれぞれ1名を選出して、「スピードアップ賞」を贈呈。

・審判員技術向上アプリを活用し、審判員個々のストライクゾーンの特徴などを把握した上で判定技術の向上に努め、更には全体のストライクゾーン均一化を図り、スムーズな試合進行に寄与。

◇日本野球協議会「普及振興活動状況調査2020」

NPB12球団及びプロ野球関係団体、(一財)全日本野球協会加盟の全アマ団体へ野球に関する普及・振興事業の実態調査を実施。(集計中)

◇中期経営計画小委員会における指針である野球振興策の方針を補完する及び検証するためのデータ・情報獲得を目的に外部業者によるアンケート調査「野球振興施策の検討に関する調査 Phase2」を実施。

◇DMP(データマネジメントプラットフォーム)を整備。NPB 公式サイト来訪者の属性データを収集・統合・分析し、既存訪問者の満足度向上、また新規来訪者獲得のために活用する。さらにデータに基づいた振興や事業サポートの目的にも活用していく方針。

◇NPB 新公認バット規定

30年間変更のなかった規定を現状を踏まえて変更。

【復興支援事業】

◇東日本大震災および寄付活動

・2019年台風第19号および大雨災害義援金の寄付を実施

◇東日本大震災復興支援野球教室の開催 (被災地でイベント実施)

・2019年 NPB 東日本大震災復興支援事業(岩手県)

2019年12月12日にプロ野球OBが岩手県立住田高校、13日に現役選手が大船渡市立赤崎中学校、岩手県立大船渡東高校へ学校訪問(中高計3学校)。夢に向かって努力する事の大切さについての講話を実施。

・東日本大震災復興支援事業「NPBベースボールフェスタin浪江町 十日市祭」

2019年11月23・24日に福島県浪江町の地域祭「十日市祭」に参加し、体育館内で日本代表コーチによるトークショーを実施。日本代表チームが優勝した WBSC プレミア12の振り返りや翌年の東京五輪の展望等をお話しいただいた。また子供達が遊べるようにふわふわ遊具やTボール・スタンプラリーなど各種のアトラクションを用意し、2日間で約3,000人が来場。

【助成事業】

◇日本野球機構補助金規程に則り、野球または野球を含むスポーツの振興またはその援助を目的とする公益的団体を対象とした寄付、助成事業の実施と対象団体の実施事業の課題整理作業を開始。

・公益財団法人野球殿堂博物館

時代に即した博物館事業について共同で調査研究を実施すべく協議を開始。

・公益社団法人全国野球振興会(プロ野球OBクラブ)

・公益財団法人日本野球連盟(JABA)

・NPO法人アオダモ資源育成の会

今後寄付を継続することに対する課題の抽出と同会への課題対応要請に向けた準備作業を開始。

・一般社団法人全日本女子野球連盟

今後女子プロ野球も組織内に包含する予定。それに伴い普及振興にも一層の注力をしたいとのことで協力要請があり、協力体制構築(助成額増を含む)について準備作業を開始。

【アマチュア球界との交流】

◇日本野球協議会の運営

日本野球機構と(一財)全日本野球協会で構成される日本野球協議会の各種委員会等において協議。

- ・幹事会
- ・各委員会(普及・振興、侍ジャパン強化、マーケティング、オペレーション、国際)
- ・その他各種部会

◇プロ野球選手によるシンポジウム「夢の向こうに」の開催

- ・2019年11月30日(土) タマホームスタジアム築筑後

◇野球競技者登録システムの開発

野球界全体での統一した選手登録システムとして「競技者登録システム」の開発に着手。2021年の稼働に向けて開発進行中。

◇野球規則委員会においてプロ・アマ合同でルール研究会を実施

- ・プロ・アマ審判技術専門部会の開催
- ・第19回プロ・アマ審判学校を開催

【国際交流】

◇WBSC(世界野球ソフトボール連盟)への協力活動

◇国際試合の招致活動(2019年10月～11月カナダ代表招致 ※WBSC プレミア12練習試合)

◇国際審判員、技術員として、NPB審判員及び審判指導員を各種国際大会に派遣

◇野球指導教材外国語版を使用し、国際協力機構(JICA)との連携を図り、海外での野球普及活動支援

【新人選手・プロ野球選手OBへの取り組み】

◇新人選手選択会議(ドラフト会議)、育成選手ドラフト

- ・2019年10月17日(木)に実施

◇新人選手研修会

- ・2020年 1月10日(金)に実施

◇セカンドキャリアサポート事業

- ・みやざきフェニックス・リーグ参加の現役選手への意識調査を実施
- ・退団者の動向調査を実施
- ・セカンドキャリアサポートマガジン「NEW BALL」の編集および発行

◇支配下10年以上養老補助制度事業における現況調査及び支給の実施

◇退団選手一時金制度における支給の実施

◇監督、コーチ、選手の国民年金基金への加入に関して、12球団と協力して加入促進活動の実施と奨励金支給に関するオールスターゲーム資金の分配と球団請求業務の実施

【球界内への取り組み】

◇野球協約の発行及び解釈に沿っての紛争解決

協約に定められた「破たん球団の救済措置」に関する条文の研究を開始。具体的な作業に支障を起ささないため実務からみた課題・問題点の洗い出しを法務と実施。今後、課題整理の上協約委員会等に諮る予定。

◇日米間、日韓間、日台間など、NPBと外国プロ野球組織との間の選手契約協定に従い、ルールの解釈、身分照会、紛争処理の実施

◇審判員の育成、研修

- ・NPBアンパイア・スクールの開催
- ・審判員のトレーニング実施(米国審判学校への派遣)
- ・研修審判員のトレーニング実施

◇NPB選手関係委員会と選手会との事務折衝

◇2020年公認野球規則の編集および発行と配布

【NPB 医事委員会活動】

- ◇脳振とうガイドラインの策定と運用
 - ・SCAT2から SCAT5への移行対応
- ◇アンチ・ドーピング講習会の実施

《収益事業等(野球奨励促進事業)》

【プロ野球公式戦の開催とそれに伴う業務】

- ◇2020年シーズン試合日程の編成、発表
- ◇開幕延期日程の作成、発表(2020年NPB全体日程の再調整)
- ◇セ・パ交流戦の開催中止(決定に際しての調整)
- ◇NPBマザーズ・デー開催中止
- ◇パシフィック、セントラル野球連盟年度連盟選手権試合運営管理
 - ・公式戦における試合日程、選手権試合(CS含む)管理、順位決定、選手登録手続
- ◇ウェスタン、イースタン・リーグ年度選手権試合運営管理
 - ・公式戦における試合日程管理、選手権試合(CS含む)管理、順位決定、選手登録手続
- ◇選手登録の管理運営
 - ・選手登録・異動手続、FA日数管理
- ◇非公式試合(教育リーグを含む)管理
 - ・日程発表・管理 審判派遣、審判経費処理
- ◇みやぎフェニックス・リーグ運営管理
 - ・試合日程作成・発表 宮崎市との運営連携 参加球団との連絡
- ◇NPB AWARDS 2019の開催、パートナーパーティーの実施
- ◇記録達成時表彰、記者投票による表彰の管理
- ◇各リーグアグリーメントの発行
- ◇イースタン・リーグ観戦ガイドの発行
- ◇グリーンブック2020(セントラル野球連盟ガイドブック)の発行
- ◇ブルーブック2020(パシフィック野球連盟ガイドブック)の発行
- ◇両連盟選手権試合へのNPB契約審判員、記録員の派遣業務
(日本選手権シリーズ、ファーム日本選手権およびフレッシュオールスターゲームは当法人の主催試合)
- ◇審判員の技術向上
 - ・審判員技術向上アプリを活用し、ストライクゾーンの精度、技術向上に努め、試合結果、リプレイ検証を振り返るアプリ(POG)も導入・活用し、審判員、記録員が自身の判定について日々の研鑽を実施。

【試合の主催、開催支援、運営】

- ◇ファーム日本選手権の開催
 - ・2019年10月5日(土) 宮崎県・KIRISHIMA サンマリンスタージアム宮崎にて開催
- ◇日本選手権シリーズの開催
 - ・2019年10月18日(土)からヤフオクドーム、東京ドーム、にて開催
三井住友銀行が冠協賛社となり、「SMBC日本シリーズ2019」として開催
- ◇フレッシュオールスターゲームの開催
 - ・2020年7月13日(月) 松山市坊っちゃんスタジアムにて開催を予定していましたがコロナウイルス感染対策により中止。
- ◇オールスターゲーム(12球団共催)の運営

「マイナビオールスターゲーム2020」として開催を予定していましたがコロナウイルス感染対策により中止。

- ・2020年7月19日(日) 第1戦:福岡 PayPayドーム
- ・2020年7月20日(月) 第2戦:ナゴヤドーム

◇国際試合における開催支援

- ・2019年11月11日(月)～2019年11月17日(日) 2019WBSC プレミア 12 スーパーラウンド、決勝・3位決定戦の開催支援

◇二次映像等の使用許諾管理・NPB管理試合における映像二次使用管理業務

◇グッズの制作、販売管理

- ・NPBが運営する大会のオリジナルグッズ制作・販売
- ・NPBショップ運営管理

◇NPBマークの管理および球団およびメーカーへの手配・販売

◇NPB CIC(写真素材管理サービス)の運営管理

◇NPB CIC(写真素材管理サービス)の運営管理

- ・2020年2月に1球団が利用開始し、プロ野球 10 球団が NPB CIC を利用中
- ・NPB・博物館保管の過去の日本 S、オールスター映像の電子化を実施

【国際大会の運営、参加】

◇日本代表チームを編成、派遣

【試合以外の収益確保】

◇新たな収益源となるビジネスモデルの立ち上げの考察

◇12球団との会議の開催、運営、案件とりまとめ

◇12球団プロパティ、選手肖像の管理業務代行

◇プロ野球データ活用プラットフォーム NPB BIP(Baseball Data Innovation Platform) 1.0 版の運用と利用社促進とサービス改善

◇e スポーツ事業「eBASEBALL プロリーグ2019(NPB・コナミ社共催)」の開催と運営

・2019年11月3日(日)～2020年1月12日(日)eBASABALL e ペナントレース開催

・2020年1月18日(土)、19日(日)コカ・コーラ e クライマックスシリーズ開催

・2020年1月25日(土)SMBC e 日本シリーズ開催

◇e スポーツ事業「プロ野球応援企画」の開催と運営

・2020年3月29日(日)～3月31日(火)、4月3日(金)～5日(日)「プロ野球“バーチャル”開幕戦 2020 powered by eBASEBALL」配信

・2020年6月12日(金)～6月17日(水)「日本生命“バーチャル”セ・パ交流戦 powered by eBASEBALL」配信

◇e スポーツ事業「NPB e スポーツシリーズ スプラトゥーン2 2020(NPB 主催)」の開催と運営

・2020年5月～9月に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大対策のため中止

◇e スポーツ事業「eBASEBALL プロリーグ 2020(NPB・コナミ社共催)」の開催発表と運営

・2020年7月7日(火) 2020シーズン告知・プロテスト概要発表

・2020年8月3日(月) 2020シーズン プロテスト詳細発表、2020シーズン詳細発表

・2020年8月24日(月)～9月22日(火) プロテスト期間

・2020年9月1日(月)～9月15日(火) e オールスター2020 ファン投票実施

・2020年9月28日(月) e オールスター2020配信と2020シーズン告知

【記録データの管理】

◇公式記録の作成、管理、運用

- ・非公式戦、公式戦への記録員の派遣
- ・公式戦、日本シリーズ及びオールスターに加え二軍公式戦のスコアカードの電子化作業
- ・オフィシャルベースボールガイド2020、ブルーブック、グリーンブック等各種出版物の作成
- ・公式記録をベースボール・インフォメーション・システム(BIS)検索サービスで提供、速報記録等のメディア配信
- ・1950年代の過去データの BIS への入力作業

《その他目的を達成するために必要な業務》

【広報・PR 活動】

- ◇NPBイベント広報対応、取材・会見対応、プレスリリース配信
- ◇プロ野球取材 ID 発行・管理
- ◇オフィシャルベースボールガイド2020の発行
- ◇公式ホームページ、SNS 等での情報発信
- ◇公式フォトの管理
- ◇公式プログラムの監修(オールスターゲーム、日本選手権シリーズ)
- ◇NPBプロモーション映像制作(球場ビジョン用)
 - ・開幕前に「ドンマイマイフレンド」「野球場へゆこう」の映像制作。12球団フランチャイズ球場で放映
- ◇NPBスローガンキャンペーン(映像、ポスター制作)
 - ・開幕前に映像、ポスター制作。12球団フランチャイズ球場、地方球場、マスコミ等で放映・掲出
- ◇NPB手帳制作
- ◇12球団ファンブックへの広告掲載

【検査および調査】

- ◇公式戦使用球(統一球)検査
- ◇折損バットの調査
- ◇NPB 公認バット基準改定

【暴排活動等】

- ◇プロ野球暴力団等排除対策協議会の中央協議会はコロナ禍を鑑み夏の会議を中止。
- ◇春季キャンプ中に全選手を対象に有害行為防止講習を実施
- ◇みやぎフェニックス・リーグでの暴排講習を実施
- ◇反社チェックシステムの導入
- ◇オールスターゲームにおけるチケット転売調査実施

【会員間の連絡、親善】

- ◇12球団役職員名簿の制作、配布

【NPB組織強化】

- ◇適正な労務管理実施に向けた体制整備
- ◇職員向け各種研修(新入社員研修、コンプライアンス研修、WEB 研修・e ラーニングの提供。新型コロナウイルス感染拡大防止のため集合研修が延期となり来期実施を検討)の実施
- ◇商標権、その他知的財産権等の管理
- ◇内部監査の徹底
- ◇危機管理の体制改善・機能強化

【地球温暖化防止活動「グリーンベースボールプロジェクト」への取り組み】

- ◇公式戦などで出場者がグリーンリストバンド着用することによる活動PR
- ◇グリーンリストバンドを販売し、売り上げを植林活動へ寄付

【アンチ・ドーピング活動】

- ◇アンチ・ドーピング選手手帳の制作・配布を通じた啓発活動
- ◇ドーピング検査の実施
- ◇サプリメント等問い合わせ対応
- ◇TUE 申請対応

【NPB リプレイ検証制度「リクエスト」】

◇導入から3シーズン目を迎え、チーム、ファンの間において同制度が定着し、判定を巡るトラブルも非常に少なくスムーズな試合進行に寄与できていると評価しております。今後は、より鮮明な映像システムの導入や第三者による映像判定など、現制度にどこまで手を入れるか等の課題を残しており、いずれも費用面を含めて効果的な対処方法を検討してまいります。

以上